

Press Release

BEAUTY NOTE

～2019 ゴールデンウィーク到来～

同じアイテムで楽しむ 3 つの旅行メイク

春の訪れと穏やかな日差しが心地よく感じる季節になりました。間もなくゴールデンウィークがやってきます。今年最大 10 連休となるため旅行を予定している方も多いのではないのでしょうか。旅行ではなるべく荷物を最小限に抑えて、動きやすくしたいですね。一方で、旅行中は行き先や気分によって雰囲気を変えてみたいものです。そこで今回は同じアイテムでさまざまな旅行シーンに合わせた雰囲気を楽しめるよう、3 つのメイクパターンを資生堂ヘアメイクアップアーティストの向井志臣がご紹介します。

今回、ポイントメイクはパウダータイプのアイブロウ、ベージュ系のアイシャドウ、ブラウンのアイライナー、マスカラ、チーク(ピンク系とオレンジ系の 2 色入り)、持ち運びに便利なミニサイズのリップ 2 品(レッドとオレンジ)のみを使用して 3 つのメイクパターンをご紹介します。あれこれ沢山持っていくなくても基本のアイテムでさまざまなメイクを楽しみましょう！



3 つの旅行メイク



チークとリップを同一色で透明感アップ。

軽やかメイク



上下まぶたのワントーンアイメイクでいつもと違う印象に。

華やかメイク



くすんだレッドリップで大人フェミニンな雰囲気に。

知的メイク

～観光や買い物など～
アクティブに動くときには軽やかなフレッシュメイク



血色感のある、いきいきとしたフレッシュなメイクはお出かけ時のカジュアルな服装にもぴったり。軽やかな気分で色々な場所を巡りたくなります。

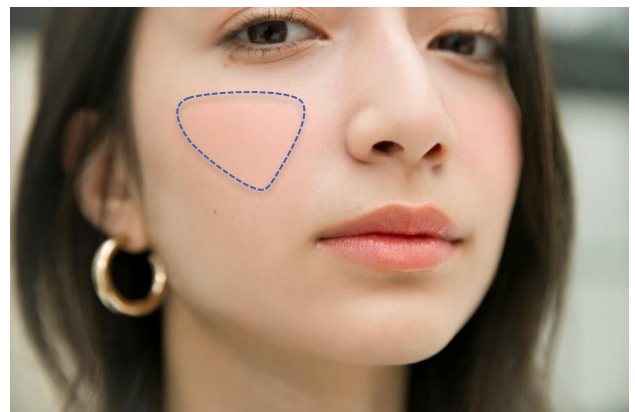
Point① 引き算メイクで抜け感を

フレッシュメイクのポイントは「引き算」。ポイントメイクの主役を決めたら、それ以外は徹底的にメイク感を抑えるとカジュアルな仕上がりになります。ここではチークと口紅を主役にして、目もとは控えめに。

- ① アイシャドウ【B】は明るいベージュを上まぶた全体にぼかして、光沢感を演出します。
- ② まぶたの中央にだけつやのあるパールを重ねると、透明感がさらにアップ。
- ③ マスカラ【E】は上下まつ毛にたっぷりつけて、アイラインは使用しないと抜け感が出ます。

Point② 同一色で透明感アップ

チーク【A】とリップ【F】の色を統一すると透明感がアップします。色はヘルシーで爽やかな印象を与えるオレンジがおすすめ。チークは目の下に逆三角形を描くようにぼかすと、肌本来の血色のように自然に発色します。



※★印は使用色です。

～博物館や美術館を巡る日に～知的な雰囲気メイク



凛とした眼差しと少しくすんだレッドリップで大人っぽい知的な雰囲気に。

Point① アイメイクは目尻側にボリューム

目もとには目尻側にボリュームを出すと目の横幅が強調されて、スタイリッシュな印象になります。

- ① アイシャドウ【B】は明るいベージュをまぶた全体にのせて、ブラウンをアイホールの半分を目安にぼかします。
- ② ポイントはダークカラー。まつげの生え際に沿って細く描き、境界線を軽くぼかします。その際、目尻側が少し太くなるようにして、目尻より1cm程度先まで広がります。
- ③ 下まぶたの目尻側にもダークカラーをぼかします。
- ④ アイライン【D】も目尻側が少しだけ太くなるように意識しながら、目尻から5mm程度延長して描きます。色は軽やかな印象のブラウンがおすすめです。



Point② 口もとには華やかに

口もとに少しくすんだレッドリップ【G】を使うと、メイクが一気に華やかな印象にチェンジします。リップ以外は少しくールな印象なので、ここでフェミニンさをプラス。洗練された大人フェミニンなメイクが完成します。



~ゴージャスなレストランでのディナーに~華やかなメイク



華やかなシーンではメイクもいつも以上にエレガントな雰囲気。普段とは違うメイクでさらに気持ちが高まります。

Point① 眉は直線的な太眉に

眉の形を変えると印象は大きく変わります。アイブローパウダー【C】で直線的に描き、眉頭をぼかしながらいつもより少しだけ強くすると、意志の強さを感じる眉に仕上がります。

Point② 上下まぶたはワントーンメイク

目もとは上下まぶたにアイシャドウ【B】のダークブラウンをぼかしてモードで大人っぽい印象に仕上げます。

- ① ブラウンとダークカラーをミックスし、上まぶたの目の際に直線的にたつぷりと重ねる。
- ② それをアイホールに向かってぼかし、広げていく。(発色が足りない場合は①②の工程を繰り返す)
- ③ ミックスしたカラーを、下まぶたの目の際に細く重ねる。(その際、目頭側 1cm は外す) 涙袋を目安にぼかします。
- ④ ブラウンのアイライン【D】をまつ毛の間を埋めるように入れた後、上下にたつぷりとマスカラ【E】を重ねましょう。

Point③ 口もとは落ち着いたカラーを

アイメイクをポイントにしたモードメイクには、主張しすぎないリップカラーがベストマッチ。くすんだレッド【G】とオレンジ【F】を 2 色使用すると、お互いの長所が融合し、色っぽいのにも爽やかさもある魅力的な口もとになります。使い方は、くすんだレッドを全体に塗布し、その上からオレンジを重ねて、軽く口もとを合わせれば完成。



今回メイクをご紹介したのは



SHISEIDO HAIR & MAKE UP ARTIST

向井志臣 Shiomi Mukai

さまざまなメイクアップブランドを担当した後、2015年から「マキアージュ」ブランドを担当。宣伝広告でのヘアメイクを中心に、商品開発やセミナー講師、雑誌撮影、ニューヨーク・パリ・東京コレクションのファッションショーなど多岐にわたり活躍。抜け感やバランス感覚にたけたトレンドのヘアメイクに定評があり、多くの女優・タレントから支持を得ている。

～ゴールデンウィークのお出かけにおすすめ～ 化粧くずれと紫外線対策情報

暖かい季節のお出かけで特に気になるのが「化粧くずれ」と「紫外線」です。

気温の上昇とともに皮脂分泌が多くなり肌のべたつきが気になったり、知らず知らずのうちに日焼けしてしまいやすいので、事前にしっかり対策を行いましょう！

化粧くずれ対策(ベースメイクアップ)

ファンデーションのノリや持ちをよくする役割がある化粧下地の使用がおすすめです。とくにおすすめは汗や皮脂のくずれを防ぎながらスキンケア効果のある化粧下地です。手のひらで顔全体にムラなくなじませます。肌のうるおいを保ちながら、皮脂を吸着します。ファンデーションはさらりとした使用感のパウダリータイプがおすすめ。スポンジを滑らせるように薄めに仕上げ、首との境目である輪郭は極薄に仕上げましょう。目の下や小鼻の横など気になるところは軽く叩くようにカバーすると化粧もちが良く、自然な仕上がりになります。

紫外線対策(日焼け止め)

晴れる日が多く過ごしやすい時季ですが、紫外線も強くなります。日焼け止めは紫外線や乾燥ダメージから肌を守りますのでお出かけ前の使用がおすすめです。使用法は朝、お手入れの最後に手のひらに1円硬貨大を目安にとり、顔の5か所(両ほお、額、鼻、あご)におき、ほおや額など広い部分からはじめ、顔の中心から外側に向かって顔のすみずみまでムラなく、いねいになじませます。

使用量が少ないと、十分な紫外線防御効果が得られない場合があります。汗をかいたり、タオルで拭いた後などは必要に応じて塗りなおしましょう。

参考資料

【撮影で使用した旅行メイクにおすすめの商品】

ベースメイクアイテム	目もとアイテム	口もとアイテム	その他アイテム
<p>【化粧下地】 マキアージュ ドラマティック スキンセンサーベース EX</p> 	<p>【アイシャドウ】 マキアージュ ドラマティック スタイリングアイズ BE303</p> 	<p>【口紅】 3/21 発売 新製品 マキアージュ ルージュ ミニ OR202 数量限定品</p> 	<p>【チーク】 クレ・ド・ポー ボーテ ブラッシュデュオポードル 103</p> 
<p>【ファンデーション】 マキアージュ ドラマティックパウダリー UV</p> 	<p>【マスカラ】 クレ・ド・ポー ボーテ マスカラシルエトフェ 1</p> 	<p>【口紅】 3/21 発売 新製品 マキアージュ ルージュ ミニ RD606 数量限定品</p> 	<p>【アイブロウ】 マキアージュ アイブロースタイリング 3D 50</p> 
	<p>【アイライナー】 SHISEIDO メイクアップ マイクロライナーインク 02</p> 		

【おすすめの日焼け止め商品】



(左から)

紫外線や環境ダメージからもマルチに守るサンスクリーン

- 資生堂サンケア パーフェクトUV プロテクター
手を汚さず、肌に直接塗れる透明スティック状サンスクリーン
 - 資生堂サンケア クリアスティックUV プロテクター
スキンケア成分 50%配合。汗・水にふれるとさらに強くなる。
最強*UV。
 - アネッサ パーフェクトUV スキンケアミルク
スキンケアする強力UV スプレー。美肌エッセンス配合。
 - アネッサ パーフェクトUV スプレー アクアブースター
- ※「最強」とは SPF50+・PA++++、及びアネッサ内ウォータープルーフ効果を意味します。